

# オープンキャンパス2017 ミニ講義 ラインアップ

8月6日 (日)

時間	学部学科	ミニ講義詳細	教員	教室	
10:30   11:10	社会イノベーション学部 政策イノベーション学科	イノベーションは「予想外」なのか	優れた新製品が全く売れなかったり、優秀だと考えられていた企業が環境の変化についていけず失敗するということがよく起きています。このようなニュースを耳にすると、イノベーションは予想が難しく、扱いづらいモノだと考えられそうですが、それは本当なのでしょうか。イノベーションとは何かという点も含めてこの講義で説明します。	久保田 達也	3号館1階 311教室
	文芸学部 英文学科	英語の単語を科学する	unbelievable という単語は、unbelieve に able がついているのでしょうか。それとも believable に un- がついているのでしょうか。この講座では、身近な英語の単語がどのように成り立っているのかを考えながら、日英語比較対照の観点から、英語学の一分野である形態論(語形成)について科学します。	井上 徹	3号館1階 312教室
	法学部 法律学科	JR東海事件から不法行為責任と認知症患者の家族の責任を考える	線路への立入り等により電車を止めてしまった者は、列車に遅延が発生した場合、何か法的に責任を負うのでしょうか。もし、電車を止めたのが認知症の患者だった場合、家族は何か法的に責任を負うのでしょうか。マスコミにおいても大きく取り上げられたJR東海事件を題材に、この問題を考えていきます。	山本 弘明	3号館2階 321教室
	経済学部 経営学科	大正期の企業家: 大衆消費社会の夜明け	日本における大衆消費社会の萌芽は大正時代にありました。その大正時代に活躍した三人の企業家(阪急電鉄の小林一三、サントリーの鳥井信治郎、ブリヂストンの石橋正二郎)の足跡をたどります。現在も続く大企業がどのように誕生していったのか、彼らの生み出した画期的なビジネスとともにその歴史を振り返ります。	平野 創	3号館2階 322教室
12:20   13:00	文芸学部 芸術学科	美術から見る日本と西洋	日本美術と西洋美術との違いは?と問われた場合、答えは千差万別、いろいろとあるでしょう。ここでは絵画作品を取り上げ、日本美術が近代以前から得意としてきたデザイン性という面から、その根本的な違いを具体的にわかりやすく紐解いて行きたいと思えます。	相澤 正彦	3号館1階 311教室
	文芸学部 ヨーロッパ文化学科	言葉とは何か	言葉はあまりにも私達の身近にありすぎて「言葉とは何か」と意識することは少ないかもしれません。また、言葉とはたんに物の呼び名に過ぎないと考えている人も多いでしょう。しかし実は「言葉がなければ世界もない」とさえ言えるのです。言葉の本質について、現代言語学の父ソシュールの理論から出発して考えていきます。	末永 朱胤	3号館1階 312教室
	経済学部 経済学科	ダイエットはなぜ先送りされるのかー経済学で考える医療政策ー	あれほど固く決意した「ダイエット」や「勉強」はなぜ簡単に先送りされてしまうのでしょうか。経済学では精神論に頼らず、合理的に個人の行動を分析する枠組みを提供します。この視点を使って、メタボ健診などの医療政策が本当に効果があったのかについても考えます。	河口 洋行	3号館2階 322教室
12:50   13:30	文芸学部 国文学科	古代の海の神話ー海幸山幸神話と浦島伝説ー	日本の古代の神話を読みます。海幸山幸神話は、山幸彦が、兄・海幸彦の釣り針をなくしてしまい、釣り針を探して海神の宮を訪れるという神話です。奈良時代の『古事記』『日本書紀』に記されています。同時代の『風土記』『万葉集』に伝えられている浦島伝説と比較して、古代文学に描かれる海の世界について考察します。	小林 真由美	3号館2階 321教室
13:40   14:20	文芸学部 マスコミュニケーション学科	データジャーナリズムから読み解く社会問題	現代社会では様々なメディアが活用され、またそのデータの多くが入手・分析可能です。そのようなデータを活用した分析から、社会のどのような動きを見ることができるのでしょうか。本講義では、メディアデータの分析とその活用事例を見ることで、現代社会におけるデータ駆動型のコミュニケーションあるいはジャーナリズムについて考えてみたいと思えます。	標葉 隆馬	3号館2階 322教室
14:10   14:50	社会イノベーション学部 心理社会学科	テキスト人間ちよこつとサイコロジ-	自分が脳死状態になったら、移植を待っている人に自分の臓器を提供しますか? 深刻な話じゃない? よくよく考えて決めないといけないよね、本当は。でもねえ、そうじゃないんだ。人間って案外テキスト。こんな大事な話、ど~でもいいことで決めちゃったりしてんの。色んなとこで、そんな感じで生きてる。ヤバくない? そんな人間ばっかじゃ、世の中どうなの? こんな感じのことをできる限り真面目にお話しします。	中村 國則	3号館1階 311教室
	文芸学部 文化史学科	道具(器物)の妖怪化と供養	今日では、人や動植物のみならず、道具(器物)の供養が盛んであり、しかも針・筆・人形といった伝統的な道具に加え、時計やパチンコ台、ロボット犬等々の機器にまで及んでいる。中世の器物の妖怪を描いた『付喪神(ルビ:つくもがみ)絵巻』や『百鬼夜行絵巻』以降の動向を視野に入れながら、道具(器物)の供養が持つ意味について検討したい。	松崎 憲三	3号館1階 312教室